

平成27年4月28日

問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 松村 治寿

電話 052(661)1611 内線 2510



こんなに近いの!?! 南海トラフ! ～海底地形図を学校教材に～

第四管区海上保安本部では、海洋に関する正しい知識・理解を得るために教材として活用していただけるよう、三重県内の全中学校（169校）に対し、『南海トラフ周辺3D海底地形図・日本近海海底地形図』等を提供します。

提供にあたり、三重県教育委員会等への贈呈を、管轄の海上保安部長から行います。

四方を海に囲まれた我が国は、海と共存し、海と共に発展してきた海洋国家です。そんな我が国が、今後も海と共に繁栄していくためには、国民一人ひとりが海洋に関する正しい知識・理解を持つことが重要であり、そのための措置として“海洋に関する国民の理解の増進”を国として進めていくことが『海洋基本法』においても定められています。

第四管区海上保安本部では、その一環として、海上保安庁が行ってきた海洋調査成果をもとに作成した『南海トラフ周辺3D海底地形図・日本近海海底地形図』等を、管内でも特に防災意識の高い三重県に所在する全中学校（169校）に提供することとしました。

三重県の中学校への提供にあたり、以下のとおり三重県教育委員会、鳥羽市教育委員会、尾鷲市教育委員会へ3D海底地形図等を贈呈いたします。

◆贈呈の様式を取材していただけます◆

○三重県教育委員会

日時：平成27年5月13日（水）10：00～10：30

場所：三重県教育長室（三重県津市広明町13番地 三重県庁舎7階）

内容：四日市海上保安部長から三重県教育長への贈呈
実際の3D海底地形図等の見学

○鳥羽市教育委員会

日時：平成27年5月14日（木）10：30～11：00

場所：鳥羽市教育長室（三重県鳥羽市大明東町1-6）

内容：鳥羽海上保安部長から鳥羽市教育長への贈呈
実際の3D海底地形図等の見学

○尾鷲市教育委員会

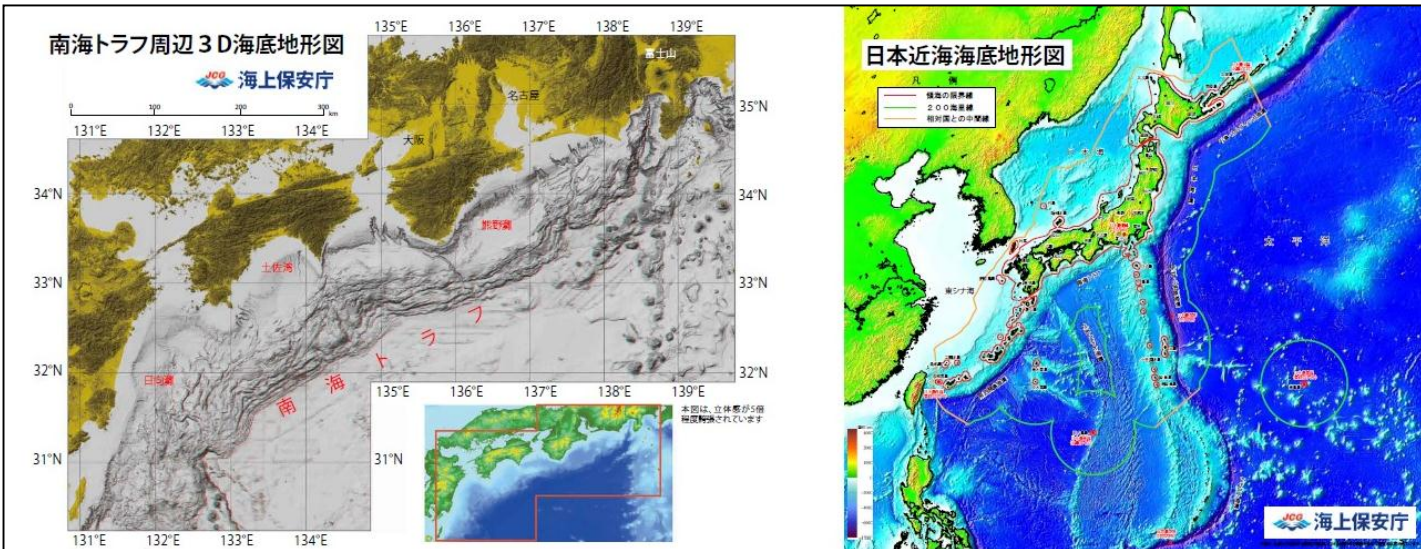
日時：平成27年5月27日（水）13：00～13：30

場所：尾鷲市教育委員会（三重県尾鷲市中央町10番43号）

内容：尾鷲海上保安部長から尾鷲市教育長への贈呈
実際の3D海底地形図等の見学
尾鷲市立尾鷲中学校への配付（同日13：30～）

取材をご希望の際は、別紙の申込書に、取材先ごとに社名、取材者名等を記入のうえ、5月8日（金）15：00までに第四管区海上保安本部海洋情報部あてFAX（052-654-2536）により送付をお願いします。

『南海トラフ周辺3D海底地形図・日本近海海底地形図』について



○南海トラフ周辺3D海底地形図

南海トラフとは、陸側のユーラシアプレートの下に、海側からフィリピン海プレートが沈み込んでいるプレート境界で、静岡県(駿河湾)沖から九州(日向灘)沖まで続く、水深3500mから4000mの海底です。

南海トラフの付近では、過去概ね100年から150年間隔で大きな地震と津波が発生しています。

本図は、プレートの運動や地震発生メカニズムなど、主に理科の授業や、防災教育に活用していただけるよう作製したものです。

○日本近海海底地形図

本図からは、日本近海の様々な海底地形の様相が分かります。

また、日本周辺の海域は、海水が最も引いた時の海岸線(低潮線)からなる基線又は法律に基づく基線からの距離に応じて、領海、排他的経済水域などいくつかの領域があり、これらの広がりも分かります。

本図は、日本近海の海底の地形や、近隣国との位置関係など、主に社会科の授業で活用していただけるよう作製したものです。



取材申込書

【5/8（金）15：00までにお送りください。】

第四管区海上保安本部海洋情報部 へ

○三重県教育委員会

社名	(ふりがな) 取材者氏名	連絡先	駐車場 利用台数

○鳥羽市教育委員会

社名	(ふりがな) 取材者氏名	連絡先	駐車場 利用台数

○尾鷲市教育委員会

社名	(ふりがな) 取材者氏名	連絡先	駐車場 利用台数

※ 申し込み後、変更があった場合には連絡をお願いします。